

所属・資格 総合文化研究室・准教授

申請者氏名 小林 和歌子

研究課題		How can we teachers provide effective listening activities for lower level learners?
報告の概要	研究目的 および 研究概要	Vandergrift (1999) によるリスニングの理解は音や語彙を理解したり文法項目を理解したり、イントネーションやストレスに注意を払ったり、これらのスキル全てを最大限に生かしながら、社会文化的なコンテキストで発話を理解するように努める、というリスナーが積極的な役割を果たす、非常に複雑なプロセスから成り立っているとされている。私は本年度も継続してこの研究に従事し、長期的な視野の下、効果的なリスニングの授業とはどのようなものか探求するつもりである。また学生にリスニングのスキルとストラテジーを提供するのみならず、4技能すべてを上昇させるような全体的な英語能力を上げるようにすることにより、将来的にはもっとコミュニケーション能力を養えるような効果的な教授法とつなげていくことを目標としている。
	研究の結果	私の担当する4つのリーディングのクラスにおいて、または観光英語のクラスにおいて、時折リスニングの課題に取り組むことができたが、その際にやはりリスニング能力の比較的低い学生には、具体的なスキルやストラテジーを最初に提供したほうが、聞き取る能力は上がるように思われた。学生からもアンケートによると、背景知識を活性化するための語彙や文化的情報を提供したことは、非常に有益であったことが分かった。今後もリーディングの授業に特化することなく、なるべくバランスよく4技能の学習が進むように、時折リスニングの課題を取り入れることは、過去の研究から考察しても、統計的にも有用であることが分かった。
	研究の考察・反省	研究課題がリスニングであったけれども、その他にも幾つかの研究課題を抱えていたため、リスニング研究はそれほど目覚ましく進んだというわけではなかった。他の研究課題としては本年度は、多読教育における仮想図書館の利用の効果および、カンボジアにおける外国語（英語を中心とする）教育についてである。両者共に、出版をすることが可能であったために非常に有益であったと言えよう。しかしながら、リスニング研究も今後も更に継続して探求するつもりである。まだまだ研究の余地は残っているからである。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 Thailand TESOL 2018 Bringing Extensive Reading into Practice: A Case Study in a Japanese University 2019年1月17日 タイ アンバサダーホテルにて
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	Bringing Extensive Reading into Practice: A Case Study in a Japanese University 日本大学文理学部人文科学研究所 『研究紀要』 第97号 2019年2月28日発行